

令和8年度採用

岐阜県公立学校教員採用選考試験 第1次選考試験

教科専門

高等学校 書道

受験番号	
------	--

試験時間

10時30分～11時40分（70分）

【注意事項】

- 1 放送で指示があるまで、この問題冊子に手を触れないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は、マークシート記入要領に従って記入してください。
- 3 問題の印刷が不鮮明な場合には挙手をして、試験官が来るのを待ってください。
- 4 終了後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。この問題冊子は各自持ち帰ってください。

二 次の文章を読んで、後の()内の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(出典 熊本孝 著「このころの人類学―人間性の起源を探る」)

(一) 本文中の――A「別の視点から見れば」とあるが、「別の視点から見」た場合に当てはまらない表現を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は11。

- ① 虚構の論理的世界の構築
- ② 人間と自然との乖離
- ③ 自己中心的な一方向への特殊化
- ④ 地球上への適応放散
- ⑤ 現代の地球環境問題

□ 本文中の「ア」、「イ」に入る言葉の組合せとして最も適切なるものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は12。

- ① ア 共生 イ 共存
- ② ア 利己 イ 利他
- ③ ア 善悪 イ 正義
- ④ ア 論理的 イ 直感的
- ⑤ ア 適応 イ 不適応

□ 本文中の「B」行動の内なる主体」とあるが、この表現の具体的な説明として最も適切なるものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は13。

- ① 適応と行動との関係を考えると、こころと自然との調和が認識されなければならなかつたということ。
- ② 適応しながら進化してきた人間は、行動だけではなく、こころをも自然に適応させる必要があつたということ。
- ③ ある行動には、そう行動すべきだと考えるこころの判断があるはずで、行動はその結果であるということ。
- ④ 適応しながら文化を発展させるためには、行動よりも、こころの開放を行わなければならなかつたということ。
- ⑤ ある行動には、そうした行動を選択すべきだということの働きがあり、そこには乖離があるということ。

□ 本文の文脈から考えた場合、「C」理性」に最も近い意味を持つ言葉として最も適切なるものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は14。

- ① 様々な社会の規範や生き方
- ② 虚空のような世界
- ③ 普遍的な世界の真実
- ④ 人間性の起源
- ⑤ いつくしみとしあわせ

(五) 本文中の——D「大切なのは、どんなに社会が複雑になろうとも、私たちは、このころの根源的な感覚を忘れてはいけないことである。」とあるが、筆者がこのような考える理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は15。

- ① 願想を通して様々な文化装置を作り出し、絶対的な存在を認識するため。
- ② いつくしみとしあわせの感覚を思い起こさせることで、個人と社会の存続をはかるため。
- ③ 認識による自己の正当化をおすすめ、様々な文化装置を発展させるため。
- ④ 脳容量の増加によって理解力を高め、対象を弁別し世界を再統合するため。
- ⑤ 言語によって自然との関係を認識し、日常の中で人間として成長するため。

(六) 本文に書かれている内容として適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は16。

- ① 現代の地球環境問題や紛争は、自己中心的ではあるが利他心の動作のくり返しの一種になる。
- ② 人類は人類自身を絶滅させうる危険な存在になったが、それでも他者へのいつくしみを忘れてはいない。
- ③ 自己中心的な一方への特殊化の過程は、本来の人類のあり方から見れば誤った方向への進化である。
- ④ 人の生死の瞬間は虚空のような世界であるが、幻のような現実の中でも自他の区別はできる。
- ⑤ 結局のところ我々が作り出した世界観は、人間独自の認識に基づいた個別の認識にしかすぎない。

二 次の文章は、『宇治拾遺物語』の一節である。これを読んで、後の(一)～(四)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(出典 「宇治拾遺物語」)

(1) 本文中の「ア「べし」と「オ「べき」の意味の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は17。

- ① ア「命令」――― オ「適當」
- ② ア「意志」――― オ「命令」
- ③ ア「推量」――― オ「意志」
- ④ ア「命令」――― オ「可能」
- ⑤ ア「意志」――― オ「可能」

(2) 本文中の「イ「仰せ」と「エ「奏る」は、それぞれ誰に対するどのような敬意を表したものが。敬語の種類と敬意の対象の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は18。

- ① イ「謙讓語→不動尊」――― エ「尊敬語→相應和尚」
- ② イ「丁寧語→相應和尚」――― エ「尊敬語→宮」
- ③ イ「尊敬語→不動尊」――― エ「謙讓語→宮」
- ④ イ「尊敬語→相應和尚」――― エ「丁寧語→宮」
- ⑤ イ「尊敬語→不動尊」――― エ「謙讓語→相應和尚」

㉓ 本文中の「ウ」本意の本文における意味として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は19。

- ① 都卒の内院に参ること
- ② 法華経をそらんじること
- ③ 明王の頭に乗ること
- ④ 無學に出家できること
- ⑤ 不動尊を建立すること

㉔ 本文中の「カ」人々しわびてとは、誰のどのような状態に対して出てきた表現か。最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は20。

- ① 粗末ななりをして杉の下駄をはいた相応和尚のみすぼらしい姿
- ② 寝殿の母屋で臥せっている后の宮の御簾の外に苦しげな声が漏れる様子
- ③ 熱心に祈祷を行う相応和尚が呼び出した不動明王の恐ろしい姿
- ④ 縁先で四五尺放り上げて敷敷に打ちつけられる后の宮の様子
- ⑤ 相応和尚をさげすんで殿中に上げなかつた御付きの人々の振舞い

㉕ この文章の内容として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は21。

- ① 相応和尚は厳しい修行の末、法華経もそらんじることが出来たが、都卒天にのぼることを許されなかつた。
- ② 相応和尚は比良山の三滝に行き弥勒菩薩に願をかけ本懐を遂げた後で、比叡山無動寺に、等身丈の不動尊を建立した。
- ③ 相応和尚は物の怪に苦しんでいた后の宮の寝殿に伺候した折、お付きの人々の対応にひどく憤慨し、殿中にのぼらなかつた。
- ④ 后の宮のお付きの人々は徳の高い行者として相応和尚を招きながら、一方でその身なりを卑しんだため、後に宮の怒りを買った。
- ⑤ 相応和尚は身分で人を判断し、人の本質を見ようとしない浅薄さがあると、后の宮のお付きの人々から卑しまれた。

三 次の設問(一)～(九)に答えよ。

(一) 次の文章は、「高等学校学習指導要領(平成30年告示)平成30年3月告示 文部科学省」の一部である。空欄(A)から(E)に当てはまる語の組合せとして、最も適当なものを次の①から⑧の中から一つ選べ。解答番号は22。

書道Ⅲ 2 内容

A 表現

表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。

漢字仮名交じりの書

漢字仮名交じりの書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 主体的な(A)に基づく個性的、(B)な表現を追求すること。

イ 現代の(C)に生きる様々な書の表現とその(D)について理解を深めること。

ウ 書の伝統を踏まえ、目的や用途、(E)に応じて(B)に表現する技能を身に付けること。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|----|---|-----|---|------|---|----|---|----|
| ① | A | 発想 | B | 創造的 | C | 創作活動 | D | 要素 | E | 風趣 |
| ② | A | 構想 | B | 創造的 | C | 社会生活 | D | 要素 | E | 意図 |
| ③ | A | 発想 | B | 普遍的 | C | 創作活動 | D | 技能 | E | 意図 |
| ④ | A | 構想 | B | 普遍的 | C | 社会生活 | D | 要素 | E | 価値 |
| ⑤ | A | 構成 | B | 独創的 | C | 創作活動 | D | 技能 | E | 意図 |
| ⑥ | A | 構成 | B | 独創的 | C | 創作活動 | D | 要素 | E | 価値 |
| ⑦ | A | 構想 | B | 独創的 | C | 社会生活 | D | 技能 | E | 風趣 |
| ⑧ | A | 構成 | B | 創造的 | C | 社会生活 | D | 要素 | E | 価値 |

- (二) 次の文章は、文字の変遷について書かれたものである。空欄(ア)から(エ)に当てはまる語の組合せとして最も適切なものを、次の①から⑥の中から一つ選べ。解答番号は23。

漢字の五書体のうち最も古いものは篆書であるが、この篆書のうち金文の多くは(ア)によつて文字が書き表されている。また秦の始皇帝によつて定められたものを(イ)と呼ぶ。篆書の速書きとして生まれたものが隸書であり、(ウ)の時代に曹全碑や(エ)などが刻された。

- | | | | | | | | | |
|---|---|----|---|----|---|----|---|------|
| ① | ア | 鑄造 | イ | 大篆 | ウ | 後漢 | エ | 乙瑛碑 |
| ② | ア | 彫金 | イ | 大篆 | ウ | 東晋 | エ | 鄭羲下碑 |
| ③ | ア | 鑄造 | イ | 小篆 | ウ | 後漢 | エ | 鄭羲下碑 |
| ④ | ア | 彫金 | イ | 小篆 | ウ | 東晋 | エ | 鄭羲下碑 |
| ⑤ | ア | 鑄造 | イ | 小篆 | ウ | 後漢 | エ | 乙瑛碑 |
| ⑥ | ア | 彫金 | イ | 大篆 | ウ | 東晋 | エ | 乙瑛碑 |

- (三) 次の古典の古い年代順に並べたものとして最も適切なものを、次の①から⑤の中から一つ選べ。解答番号は24。

- | | | | | | | | | | | | |
|---|---------|---|---------|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|
| ① | 泰山刻石 | ↓ | 爨宝子碑 | ↓ | 張遷碑 | ↓ | 雁塔聖教序 | ↓ | 玄秘唐碑 | ↓ | 黄州寒食詩卷 |
| ② | 泰山刻石 | ↓ | 張遷碑 | ↓ | 爨宝子碑 | ↓ | 九成宮醴泉銘 | ↓ | 黄州寒食詩卷 | ↓ | 蜀素帖 |
| ③ | 美人董氏墓誌銘 | ↓ | 九成宮醴泉銘 | ↓ | 風信帖 | ↓ | 黄州寒食詩卷 | ↓ | 離洛帖 | | |
| ④ | 多胡碑 | ↓ | 伊都内親王願文 | ↓ | 屏風土代 | ↓ | 祭姪文稿 | ↓ | 白氏詩卷 | | |
| ⑤ | 多胡碑 | ↓ | 風信帖 | ↓ | 九成宮醴泉銘 | ↓ | 雁塔聖教序 | ↓ | 書譜 | | |

- (四) 次の図版について書かれた説明のうち、空欄部分（ア）～（ウ）に入る語の組合せとして最も適切なものを、次の①から⑧の中から一つ選べ。解答番号は25。

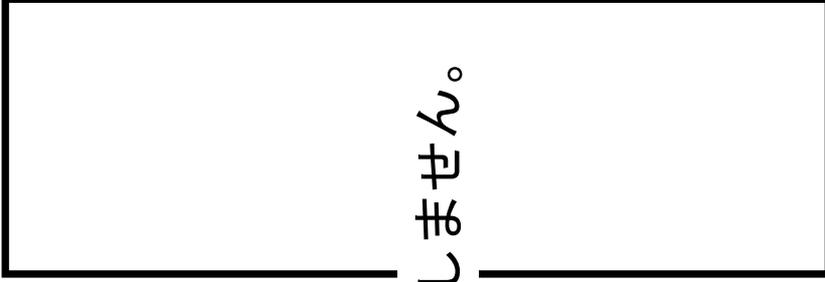
著作権保護の観点により、
掲載いたしません。

この図版の古典は、（ア）とその皇太子が撰文したものを楮遂良が揮毫したものである。楮遂良は、（イ）なども残している。碑は現在（ウ）に安置されている。

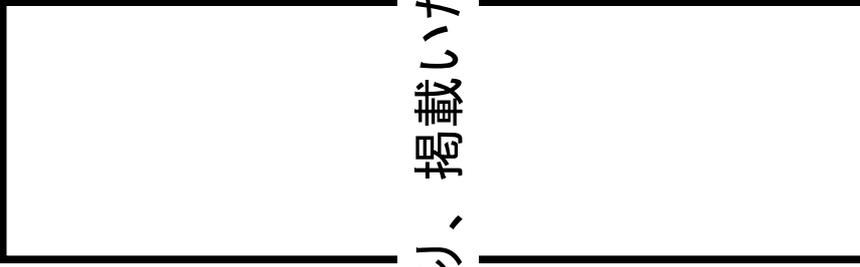
- | | | | | | | |
|---|---|----|---|-------|---|-----------|
| ① | ア | 太宗 | イ | 伊闕仏龕碑 | ウ | 西安碑林博物館 |
| ② | ア | 玄宗 | イ | 枯樹賦 | ウ | 慈恩寺 |
| ③ | ア | 太宗 | イ | 玄秘唐碑 | ウ | 故宮博物院（北京） |
| ④ | ア | 玄宗 | イ | 伊闕仏龕碑 | ウ | 慈恩寺 |
| ⑤ | ア | 太宗 | イ | 枯樹賦 | ウ | 西安碑林博物館 |
| ⑥ | ア | 玄宗 | イ | 哀冊 | ウ | 故宮博物院（北京） |
| ⑦ | ア | 太宗 | イ | 伊闕仏龕碑 | ウ | 慈恩寺 |
| ⑧ | ア | 玄宗 | イ | 玄秘唐碑 | ウ | 西安碑林博物館 |

(五) 次のアからエの図版と古典名の組合せとして最も適切なものを、次の①から⑦の中から一つ選べ。解答番号は26。

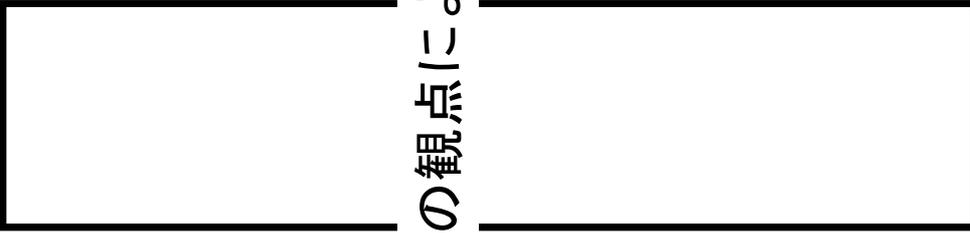
ア



イ



ウ



エ



著作権保護の観点により、掲載いたしません。

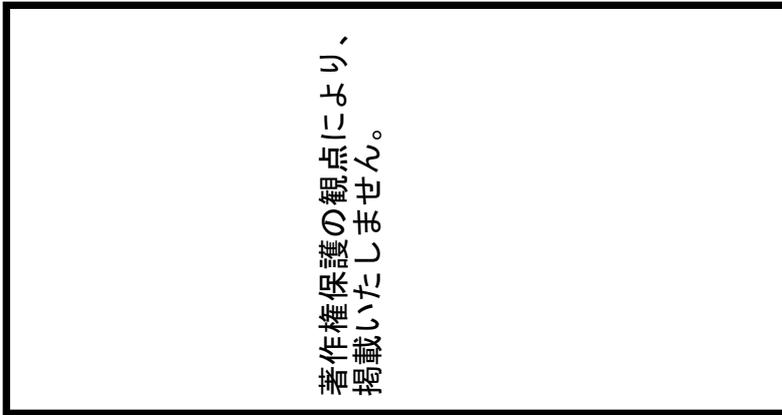
- | | | | | | | | | |
|---|---|--------|---|--------|---|-------|---|------|
| ① | ア | 張猛龍碑 | イ | 高貞碑 | ウ | 顔氏家廟碑 | エ | 孟法師碑 |
| ② | ア | 魏靈藏造像記 | イ | 高貞碑 | ウ | 多宝塔碑 | エ | 孟法師碑 |
| ③ | ア | 魏靈藏造像記 | イ | 張猛龍碑 | ウ | 建中告身帖 | エ | 孟法師碑 |
| ④ | ア | 高貞碑 | イ | 魏靈藏造像記 | ウ | 顔氏家廟碑 | エ | 孟法師碑 |
| ⑤ | ア | 張猛龍碑 | イ | 高貞碑 | ウ | 多宝塔碑 | エ | 皇甫誕碑 |
| ⑥ | ア | 張猛龍碑 | イ | 高貞碑 | ウ | 建中告身帖 | エ | 皇甫誕碑 |
| ⑦ | ア | 高貞碑 | イ | 魏靈藏像造記 | ウ | 多宝塔碑 | エ | 皇甫誕碑 |

(六) 次の文章は顔真卿の三稿について書かれたものである。空欄(ア)から(ウ)に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①から⑥の中から一つ選べ。解答番号は27。

顔真卿が書いた三稿のうち、真跡として伝わっているものは祭姪文稿(ア)である。祭姪文稿は、安史の乱で亡くなつたこの子の顔季明に対する気持ちの高ぶりが滲み出ている。祭伯文稿は、(イ)にゆかりがあり、争坐位文稿は(ウ)である。

- | | | | | | | |
|---|---|--------|---|---------|---|-----|
| ① | ア | のみ | イ | 同じく安史の乱 | ウ | 席次表 |
| ② | ア | と祭伯文稿 | イ | 同じく安史の乱 | ウ | 席次表 |
| ③ | ア | と争坐位文稿 | イ | 黄巢の乱 | ウ | 抗議文 |
| ④ | ア | と争坐位文稿 | イ | 同じく安史の乱 | ウ | 抗議文 |
| ⑤ | ア | と祭伯文稿 | イ | 黄巢の乱 | ウ | 席次表 |
| ⑥ | ア | のみ | イ | 同じく安史の乱 | ウ | 抗議文 |

(七) 次の図版について書かれた説明について、空欄(ア)から(ウ)に入る語の組合せとして最も適切なものを、次の①から⑦の中から一つ選べ。解答番号は28。



この図版は、(ア)が書いた(イ)の一部である。平安の(ウ)の一人に数えられる。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|----|
| ① | ア | 藤原行成 | イ | 白氏詩卷 | ウ | 三跡 |
| ② | ア | 藤原行成 | イ | 白氏詩卷 | ウ | 三筆 |
| ③ | ア | 藤原佐理 | イ | 離洛帖 | ウ | 三筆 |
| ④ | ア | 藤原佐理 | イ | 離洛帖 | ウ | 三跡 |
| ⑤ | ア | 藤原行成 | イ | 李嶠詩 | ウ | 三跡 |
| ⑥ | ア | 嵯峨天皇 | イ | 李嶠詩 | ウ | 三跡 |
| ⑦ | ア | 嵯峨天皇 | イ | 李嶠詩 | ウ | 三筆 |

